



お知らせ

福井県青年国際交流機構

『発足 50 周年記念パーティ』

昭和34年に今上天皇ご成婚の記念に始まったこの事業は、形や内容こそ時代の流れに乗り変化してきましたが、既参加青年の事後活動団体として福井県青友会として昭和36年3月に発足しました。

そして平成18年福井県青友会から福井県青年国際交流機構と名称を変更し現在に至ります。全国組織で、本部は東京日本橋にある『日本青年国際交流機構』です。

会員は世界約50数カ国に約3万5千人のネットワークでつながっています。通称世界大会は毎年秋にあり、昨年はエジプト、今年はメキシコで開催されます。

この福井県青年国際交流機構の『発足50周年記念パーティ』を下記のとおり開催します。皆様のご出席をお待ちしております。

- ◆ 日時：8月27日(土)18:00～
- ◆ 場所：ホテル リバービューアケボノ(福井市中央)
- ◆ 会費：5,000円

[お申し込み・お問い合わせ]

◇ E-mail : fukuiyeoh21@yahoo.co.jp (小林)

派遣報告③

〔 めくもり 〕

インターナショナルクラブ 後藤淳子

私と友人は普段市民の広場や児童館などでクラフト講座を展開しています。今回縁あって、私たちは岩手県陸前高田市のY保育園と市民の広場“川の駅よこた”に行きました。私たちのミッションは暖かい創作の時間の提供です。この時期、節電の影響もあり、オリジナルうちわづくりを企画しました。

《6/25 日午前》まるで何事もなかったかのように無邪気に笑う子、保育園が津波に流されないように囲いをした保育園のレイアウトをうちわに貼る子もいました。大人でさえも衝撃的な出来事を子どもたちはどれほどの重みで現実をとらえているのでしょうか。胸が痛くなる思いでした。でも工作をしている顔はみんな真剣で、本気でcoolなうちわを作ってやるぞ～☆とはりきっていました。残った和紙のロールは各7つの保育園で分けていただくことにし、保育園を後にしました。

《25日午後～26日午前》コーディネートをしてくださった、Gさんに案内していただき、市民の広場へ到着。なんと新聞やラジオで宣伝してくださって、2日間で90人近くの方々が寄ってくださいました。“ものづくり”は、共有する空間があれば自然とお互いに心がオープンになり、話しかけたり、それがきっかけで、コミュニケーションがうまくいったりとおおいに盛り上がります。

何がボランティアで何が仕事で。。。なんて考えてたら、明日になってしまいます。自分たちが確信しているものを自信を持って提供することが大事です。「めくもり」や「味わい」、「なんだかいいなあ」はだんだんなくなってしまう世の中。でも人々の心を癒したり、前進しようとする前に突き動かしたりする力はやっぱり「めくもり」なんだと思いました。

◇詳しくはホームページをご覧ください ↓

<https://sites.google.com/site/washideasobu/>



派遣報告④

〔 つながりの力 〕

福井県社会福祉協議会 小澤澄子

今回の震災では、3月19日以降、県内市町社会福祉協議会(以下:社協)と県社協が、1クール7泊8日の行程で岩手県陸前高田市での支援業務にあっています。7月25日現在、第25クールが派遣されていますが、私は第6クールとして4月17日から派遣されました。

現地では、岩手県・新潟県・富山県・石川県内の社協職員とともに、組織が壊滅状態となってしまった陸前高田市社協職員のサポート、災害ボランティアセンターの移転に伴う周知および事務手続き等の支援を行いました。

全国の社協ネットワークを活かして、切れ目なく人材を派遣できる点は、全国すべての市区町村に組織化されている社協の強みであると感じました。また、同じ社協職員であるため、被災地域の社協(職員)に寄り添うことができ、取り組む業務や活動を短時間で理解し、イメージを共有しやすく、課題解決に向けて協同しやすい点なども、社協だからこそ担える役割であると強く感じました。

今回の派遣では、普段の仕事や生活にある様々なことに気づかせていただき、また、「つながりの力」の大切さを改めて感じました。

◇詳しくはホームページをご覧ください ↓

<http://www.f-shakyo.or.jp/>



27号 2011年8月・9月

【発行】福井県青年団体連絡協議会(青団連)

ブログ: <http://fukuisseinen.mitelog.jp/seinen/>

メール: fukuisseinen@yahoo.co.jp